

溫柔敦厚

題字 溫柔敦厚 揮毫 東温市立上林小校長 上甲 鼓季 解説は3面



発行所 (公財)愛媛県教育会
〒790-8545 松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

アラスカに魅せられて



自然写真家

松本紀生

1年の約半分をアラスカで過ごすという生活をもう20年以上続けています。アラスカでは誰もいない原野で一人きり、テントやかまくらを住居としながら動物やオーロラを撮影します。長いときには1か所で2か月間キャンプをすることもあります。氷点下50℃にも達する厳寒の辺境で、社会や文明から隔絶された時間です。

日が流れました。残りの半分の拠点は生まれ故郷でもある松山市です。写真家でありながら、日本滞在中は一切写真を撮りません。カメラもアラスカに置いたままで、自宅には撮影機材はありますか、キャンプの装備も皆無いです。奇妙に思われるかもしれませんが、アラスカに惹かれます。アラスカに惹かれて写真家になった者からすると、彼の地以外では撮らないというのはごく自然なことなのです。

日本ではフォトライブと名付けたスライドショーを行っています。写真や映像を大スクリーンに映写し、トークやBGMを交えて紹介する出し物で、アラスカでの撮影と並ぶ、僕のライフワークとなっています。依頼に応じて全国どこへも出かけます。各種団体、病院、小・中・高校や大学、ときには幼稚園にお邪魔することもあります。体育館に響き渡る子どもたちの歓声や笑い声を感じ、笑顔と拍手を贈られる幸せは、先生方なら十分おわかりいただけるのではないのでしょうか。

好きなことをやりながら、同時に人からも喜んでももらえる。そんな生き方も実現可能なのです。20歳を過ぎて写真家を志した僕が言うのですから、少しは説得力があるでしょう。いつか子どもたちが人生に迷うことがあったなら、あんな生き方をしている人もいたなあと思い出してほしい。そう願っています。

- 一略 歴一
(まつもと・のりお)
- ・1972年生まれ
 - ・宇和島市立番城小・鶴島小に4年生まで在籍
 - ・松山市立湯築小・道後中卒業
 - ・アラスカ大学卒業
 - ・アラスカのみを撮る写真家として国内外の媒体に作品を発表
 - ・TBS「情熱大陸」はじめ各局放送番組に出演
 - ・中学道徳および高校英語の教科書などで紹介

- (2) 学校紹介 平野中学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) (5) 特集「心に残る先生子ども学校」
- (6) (7) 第23回四国国公立幼稚園子ども園長研究会愛媛大会を終えて
- (8) ふるさとスケッチ

響き

プロ野球春季キャンプ真つ盛りである。各球団ともシーズンインを控えて選手の強化に懸命である。プロ野球の春季キャンプは昭和21年

ジャイアンツが当時の松山高等学校のグラウンド(現愛大附属中)で行ったのが最初だったようである。戦後間もない時期、どのようなキャンプが行われていたのか知るよしもないが、ともあれシーズンを戦い抜く体力と対戦チームに打ち勝つ技能を集中的に磨いていたであろうことは今も昔も変わりないと思う。一流のプレーの背後には厳しい練習があることは容易に想像できる。▼「キャンプでいろいろと試すことはムダではありませぬ。ムダなことを考えてムダなことをしないと伸びませぬ」イチロー選手の言葉である。▼「キャンプでやっている様々な練習、確かにその中には一見無駄でやっても仕方がないと思われるような練習も混じっているかもしれない。▼でも、自分でどうすればよりよくなるかを考え、取り組むべきことならば必ず自らを伸ばすことにつながるものと思

う。▼みんなが行っている行為であつても自ら意味づけできる力も磨いていかななくてはならない。

ひとこと

つなぐ・つながる



会 教育長 附属会 金築 治美

顔を真っ赤にして、ありつたけの力を出して走り込み、握ったバトンを前へ。受け取った！ みんなの目が注がれ、歓声に包まれる会場。勤務する幼稚園の運動会、リレーの一コマである。「つながりたい」「受け取るぞ」その思いは幼児も、児童・生徒も共通であると実感する。東京オリンピックへの関心も高まっているが、私が楽しみにしている競技の一つにリレーがある。とりわけ日本のバトンパスのなめらかさ、美しさは、見ているだけで心が踊る。渡す側の託す思いと、受ける側の引き継ぐ思いが合わさる瞬間。目標を同じくした相手への厚い信頼を感じる。

この姿は、春を目前にした3月の学校の姿と重なって見える。共に過ごしてきた子どもたちを目の前に、次の学年、学校へと引き継ぐ準備を整えていく時。一人一人の顔を見ながら「この子のよさが輝いていってほしい」との願い、「十分育てることができただろうか」といった自責の念、様々な思いが去来しつ、奔走する3月。同時に、新しい子どもたちを迎え入れる準備も進める。よさを發揮し生活してほしいと願う互いの気持ちがバトンパスに凝縮される。

新教育要領や学習指導要領においても、なめらかな接続ということが強く意識されている。日本の見事なバトンパスをイメージする時、学校間の「協同」の姿勢のもと、成長して長先の先を見通す目、成長してきた過程の理解、日常的関わり等、年間を通じた連携が大切になってくる。加えて、パスした後も、子どもを真ん中にして、しっかりとつながり合っていきたいと考える。

(愛大附属幼稚園副園長)

学校紹介

No.197

大洲市立平野中学校

郷土への思いを学ぶ

本校は、運動場を囲んで幼小中が同一敷地内にあり、平成29年度から併設型小中一貫校として新たなスタートを切りました。自然が豊かで教育熱心な地域であり、従来から幼小中が連携しており、保護者や地域の協力を得ながら教育活動を実施しています。

もたちの食事も十分でなかった時代に、「弁当や修学旅行の費用に米や野菜を役立てて欲しい」と、地元の柘谷徳馬氏が学校実習地を寄贈されました。

生徒は、道徳の自主教材「柘谷徳馬に学ぶ」を学習後、もみの消毒から始まり、稲刈り、販売までPTAの協力を得ながら取り組んでいます。その後、文化発表会等でおいしくいただくとともに、その勤労体験学習で学んだ先



人の思いや、地元の自然とともに生きる素晴らしさについて毎年発表しています。

また、地域を盛り上げるため、平野の祭りでは、全校生徒が4体の牛鬼を担ぎ、地域を練り歩きます。「商売繁盛！」「家内安全！」「平野の祭りだ！」などと、この日ばかりは静かな農村地域に生徒たちの元気な声が響き渡り、地域の方々からとても喜ばれ、楽しみにされています。

児童生徒数の減少により、行事等の開催に課題はありますが、平野地区では、幼小中と公民館が合同で「ふれあい運動会」を開催し、今年度で20回となりました。幼児からお年寄りまで、地域が一体となって、見守り育てていただくことに、この地域の素晴らしさを感じています。

今後、先人の思いを受け継ぎながら、生徒たちは、「平野を愛する日」の挨拶運動をはじめ、様々な活動を通して、学び続けていきます。

(校長 菊池 敏彦)

題字に寄せて

温おん柔じゅう敦とん厚こう



小林市東温上校 校長 上甲 鼓季

「溫柔敦厚は詩の教えなり」は、孔子が儒教の古典「詩経」を評した言葉です。「詩経」の詩は、純朴な民情が素直に歌われたもので、人を感動させ、善に導く力があると説いたものです。

意味は「優しく穏やかで、思いやりがあること」4月に赴任した上林にびつたりの言葉。「環境が人をつくる」とよく言われますが、保護者・地域の方々が、温かく誠実に子どもたちに関わってくださいるので、思いやりがあり、何事にも一生懸命取り組む子に育っています。私たち教職員も子どもたちにとってよい環境になれるよう、日々努力していきたいと思えます。

ふるさとに生きる

No. 100

元気な集落づくりを通して

人生を楽しむ



竹内英一郎 先生

訪問者 福井 隆也

(久万高原町立明神小学校長)

高知県境に近い旧柳谷村の中津にある竹内英一郎先生のご自宅を訪問させていただいた。

一 憧れの林業への挑戦

ご退職後、生まれ故郷の中津へ戻られて、憧れであった林業に取り組まれた。トラックにジャガー(材木を運搬する機械)、チェーンソー等の設備を揃え、伐採から、積み込み、運搬、販売まで全てご夫婦での経営に挑戦された。もうけにはならなかったが、奥様も、林業のおもしろさにはまり、体力作りも兼ねて10

年間続けられたそう。奥様の体調が悪くなったことを期に7年前に林業は辞められている。

二 「中津丸ごとミュージアム」への取組

平成19年に愛媛県から元気な集落づくりの指定を受けて、地域の仲間と一緒に集落の再活性化に取り組まれた。指導を仰いだ愛大教授からは「みんなは地元の良い所を知らない。当たり前のことが本当はすばらしいことなのに、気付いていない。」という言葉をいただいた。その言葉に

刺激を受けて、この中津地域全体を博物館に見立てた、「中津丸ごとミュージアム」への取組を始められた。平成25年には、中津を紹介するためのホームページも立ち上げ、昼も夜も、公民館の活動に積極的に取り組まれた。活動の目玉として大人を対象とした、「音楽の学校」「食文化研究会」「田んぼの学校」の二つが立ち上がった。その

中で、竹内先生は、田んぼの学校の校長先生を務められた。無償で、30アールの休耕地を耕作され、松山市などから公募した20人以上の生徒を対象に、田植えや稲刈りに加え、ドジョウや昆虫などの生き物調査も行ったそう。



また、中津地域を吉野の里に負けない桜の里にしようと取り組まれている。山桜5万本の植樹を目指し、今までに30ヘクタールに2万2千本植えられたそう。現在も、桜の木の除草刈りなど手入れをされている。

三 人生を楽しむ

ここに入れば時間が経つのも忘れてしまうというご自慢の作業場は整然としており、先生の性格を物語っている。薪ストーブも自作。ご自分で加工した材を組み立てていく組子作りにはまっているそうで、その難しさを楽しそうに語ってくださいました。先生のお姿に奥様と二人三脚で人生を楽しむ極意を授かった。

竹内 英一郎 先生 (77歳)

(久万高原町中津在住)

特集 心に残る先生・子ども・学校

思い出多い

切山小学校



四国中央教育会
OB
藤田 正臣

川之江市最大の川之江小学校から全校21名の切山小学校へ赴任したのは、私が28歳になった春でした。行った年には、市から資材だけを頂いて、地域の人たちが造った25メートルプールが完成した年で、これをフルに活用して、たった6人しかいない5・6年生で市内のマンモス校をものともせず、3位までの入賞者が続々と出て、地域の方々も建設の労苦も忘れるほど喜ばれました。熱狂してプールサイドを走って応援し、大会後の反省会では以後慎重にようにとのお叱りの言葉を頂きました。

また2年目には県のへき地教育研究会があつて、研究授業、研究発表、初めての全校合奏などを披露しました。研究発表には複式学級で育った子どもたちの学力を文部省の学力テストを使って学力を把握し、教師が一方的に教える学習を控えて、子どもたちで問題解決に立ち向かつて問題の在り方を追求しました。

その結果子どもたちは今、こんな学習をしています。そしてこんな学力が見え始めました。と資料にまとめて発表しました。これが評価されたのか研究会終了後同じ発表を香川県の本島で、高知大のへき地研でも発表の依頼を受け、発表に行きました。子どもたちはまた、生まれて初めて市内音楽会にも参加し、全校合奏を見た県の指導主事の先生が、合奏が終るとそつと目頭にハンカチをあてられました。しかし淋しいことに赴任して3年目に思い出多い学校が廃校となりました。でも、私の心にはいつまでも懐かしく生き続けています。

あなたは、 あなたのままで



小盤市常盤
教頭
今治市
山川 博一

15年ほど前、ある学校に赴任した。赴任1年目から今まで経験したことのない出来事に度々遭遇し、面食らいながらも、多くの先生方に助けられながら、2年が過ぎ、とうとうその日がやってきた。この学校で、しかも生徒指導のキャリア的存在であったK先生の後を引き継いで、生徒指導主事をする事になったのだ。今回は、この重責に押しつぶされそうになった私を救ってくれた養護教諭のS先生の話をしたいと思う。

再会



旭中
市主事
安部 晃平

ある日のこと、S先生が「山川先生らしくないんだなあ。先生、K先生になろうとしてない？ でも先生はどんなにしてもK先生にはなれないよ。先生は先生のままでええんよ。山川先生にしかできないことあるやろ。」

気が付かないうちに、私はK先生のコピーになろうとしていたのだ。そのため、無駄に力み、余裕も無い毎日を送っていたようだ。S先生は、それを全て見透かしていた。またS先生は、集団でいきがっている子どもの指導に困っていた私に「子どもが睨んできたらね、逆になつてこり笑い返してやるんよ。」と教えてくれた。何度かチャレンジしてみた。すると、睨むだけで声もかけてこなかった子が、廊下で話しかけてくるようになった。何か気持ちも体も楽になった。楽になったら子どもも見え方が変わり、学校がとても居心地よくなった。

『50にして天命を知る』にまでは至っていないが、自分の30年の経験と周りの方々から教えられたことを、これからの若い世代に伝えることが、自分に与えられた天命の一つかもしれないと思う。

私はいま、自然に囲まれた松山市立旭中学校で事務職員として勤務させていただいて

いる。高等学校を卒業し、そのまま旭中学校で勤務することになり、はや2年が経過しようとしている。当初は、右も左も分からない状態で、毎日日事務職員の先輩方に電話をし、一つ一つ丁寧に教えていただきながら、日々過ごしていたのを鮮明に覚えている。本当に多くの人に支えていただいたおかげで、昨年を乗り越えることができた。

少し落ち着いてきた昨年の9月に、卒業後初めて母校の高校へ行く機会があつた。そこで当時の学級担任など、お世話になった先生方に挨拶と近況報告を含めてお会いした。自身の進路を様々な先生方が応援してくださり、放課後には面接練習など、きめ細やかな指導をいただいた。最後の最後まで面倒をみていただいたおかげで夢を叶えることができ、こうして日々充実した生活を送ることができている。そんな先生方に少し成長した自分の姿を見せることができたことを嬉しく思う。

私が学び育った学校に恩返しのできる気持ちを持ち、今度は学校を支えていくという思いで、これからの服務にも一つ一つ丁寧に一生懸命励んでいきたい。そして、もし勤務先

でお世話になった先生方と一緒にすることがあれば、頼りになる事務職員だなど思っていただけのようになりたいと思う。

教職に生きて



伊予教育会 OB 村上 朋子

「先生ちよつと来て」男子生徒がいつもの居場所、トイレに連れて行く。いるいる15、6名の例のメンバーが…。何事かと思う間もなく、「先生、世話になったなあ」花束をくれる。「先生、こつち向いて」便器バックに記念撮影。中学3年を担任していた卒業式の朝のことである。私の38年間の教員生活で一番心

に残っている生徒たち。様々な事々が脳裏を駆け巡る。角刈りの髪を切るのがいやでダボズボンをはいて行きたくて「それが出来んのなら修学旅行は行かん」とてこずらせたことや運動会の夜祝杯？を挙げ、夜中に対応に走り回った事などなど、走馬灯のごとく…。目頭が潤み、声にならない。この子たちと共にやって来てよかった。今も鮮やかに蘇る1ページ。小学5、6年、中3の3年間担任し、学担最後の生徒である。子どもたちと共に歩み、たくさんの感動と夢と希望、勇気をもらった。そのきつかけはA恩師との出会い。内気で消極的だった私にそつと話しかけてくれ、隠れた才能？をプラス思考で褒めてくれ、出番を作ってくれ…。私だけでなくクラスの子どもなりにそう

祝 受章おめでとつございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

- 井出 政寛様 88歳 元大西町立大西中学校校長 今治市
- 上田 常光様 88歳 元松前町立北伊予小学校校長 松前町
- 小島 鹿朗様 88歳 元宇和島市立宇和海中学校長 宇和島市
- 関谷 省三様 88歳 元松山市立浮穴小学校長 松山市
- 山田 福重様 88歳 元松山市立湯山小学校校長 松山市

であった。A先生が大好きでA先生の様な先生になりました。一途なあこがれが教師になりたいという強い意志を育み、くじけそうになる心を叱咤激励、教職の道へと導いてくれた。

生き続けている 健二先生



八幡浜教育会 OB 松下 陽子

山本健二先生は小学5、6年の担任だった。算数が好きな先生で子どもの考えを大切にされる先生だった。「○○さん式解き方」と名付けて大きな模造紙に書いて掲示してください。自分のが掲示されることも嬉しかった。詩を掲示してもらったこともある。日記指導も熱心な先生だった。悩みを書くと、子どもの文章よりも長く赤ペンで、まるで交換日記だった。

コピー機などない時代だったが、先生はガリ版刷りの1枚文集を発行してください。内容は豊かだった。それを学年末にまとめると、厚さが2センチ以上になった。ある日「この美名瀬橋からの景色が好きだ」と、先生が描かれた大きな油絵を見せていただいた。旧東洋紡績川之石工場の赤煉瓦倉庫の美しい絵だった。その時から私も大好きな景色となった。

私は先生の好きなものが好きになった。ふるさと、算数、絵、宮沢賢治そして赤ペン。私は先生のような先生になりたくて先生となった。でも私が教師となり6年目に急逝された。現職中だった。

私は退職が近くなり算数日記の実践をしたが、記憶をつないでいくと先生が大切にされていた実践だった。先生は私の中にずっと静かに生き続けてくださったのだ。先生のうちの陽だまりの庭で楽しく遊びおもしろいおやつをいただいたこともある。先生との思い出は、あの陽だまりのにおいがする。

ここからの景色好きだと師の言いし橋にたたずみ川ながめおり

愛媛県教育会の
積立年金制度

将来の年金の準備に活用できます。

制度内容等の詳細はパンフレットをご参照ください。
公益財団法人 愛媛県教育会
電話 089-945-8644
MY-CF-18-386-418303-190117-1

足跡をつづる、私を記す、形に残す。
あなたを主人公のドラマを未来に伝えますか。

受賞作品 多数制作

品質・デザイン力に自信あり!

本づくり応援

プロのスタッフが校正作業をサポートします!
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します!

●規格・装丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示
●原稿作りのアドバイス ●予算のお見積り ●その他、ご相談承ります。

ご注文・お問い合わせ 印刷営業部 ☎089-945-0112 FAX089-947-6073

SEKI セキ株式会社

第23回四国国公立幼稚園・こども園長研究会

愛媛大会を終えて

四国国公立幼稚園・こども園長研究会愛媛大会実行委員会

はじめに

11月8日、9日の2日間、約120名の参加者を得て、南予宇和島市で開催された。大会主題「未来の創り手となる子どもを育む幼児教育を目指して―家庭・地域との連携を通して幼児期にふさわしい遊びや生活を考える」のもと8日は懇親会、9日午前中に2園の公開保育、午後からは全体会、研究発表・指導助言、名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授津金美智子先生のご講演を行った。

に伴い園児数は減少している。幼児は素朴で明るく、家庭で愛情たっぷり育てられている。小規模園ならではの家庭的な雰囲気の中で園と家庭や地域が互いに協力しながら子育てにあたっている。同じ敷地には小学校や公民館が隣接しており、小学校や老人クラブとの交流もしやすい恵まれた環境にある。

研究にあたっては、幼稚園教育要領の改訂に伴い、幼・小・中・高が一貫した教育の在り方や幼児期の発達や学びの連続性が具体的に記され、円滑な接続が求められていることや社会環境の変化や家庭教育力の低下により園での教育に求められるものが多くなってきた中、様々な人との関わりをもつことが重要と考える。そこで園がセンター的な役割を担い家庭や地域との連携や一人一人の幼児

【公開保育】

宇和島市立宇和津幼稚園

宇和津幼稚園は、宇和島城の東方の山手に位置し、静かな住宅街にある。宇和島伊達10万石の総鎮守「宇和津彦神社」も校区にあり、古くから伝統と文化が育まれている。少子化や共働きの家庭の増加

の資質向上に努め、小学校に隣接している利点を生かしながら、円滑な幼小接続の推進を図っていききたいと考えた。



6年生との朝マラソン

保育のねらいとして、一人一人が目標をもって、体力づくりに取り組みことを目指し、各学年のねらいをもとに保育を展開した。6年生との活動では、朝マラソンをした後なわとびを一緒にし、6年生が園児一人一人の状況に応じて、なわとびの跳び方を伝えていた。6年生との会話やほめ言葉に園児がやる気を起こし、少し難しいことや経験したことのないことでも楽しんでする姿があった。互いが関わりの中で自分を見つめたり、相手を感じたりする時間



なわとびの様子

となっていた。その後、園児はお年寄りとの交流会にも参加した。ドングリコマや松ぼっくりけん玉、芋スタンプなどの自然物を使った遊びを楽しんだ。

宇和島市立明倫幼稚園

明倫幼稚園は、宇和島市の南に位置し、近くには国指定の名所「天赦園」「市立伊達博物館」「市立図書館」などの文化的施設がある。園児数は少子化や共働き家庭の増加により、年々減少している。家庭は、幼稚園教育に関心が高く、園行事にも積極的に参加し、協力的である。

研究にあたって、めまぐるしい社会変化の中、幼児自ら

が未来の創り手として社会を築き、生きていくための資質・能力をどう育てていくかが示されている新幼稚園教育要領を踏まえ、小学・中学・高校との交流活動について再考が必要ではないかと考えた。また、互いの発達段階の理解、交流の意義、内容、育つ心情や態度等をしっかりと話し合い、交流活動が幼児にとっ



じゃんけん陣取り

保育の中で明倫小学校1年生との交流活動が展開され、砂場で感触を味わいながら遊び、協力して水の流れる水路を作ったりして楽しんでいた。

小学生とじゃんけん陣取りをし、勝った方が松ぼっくりを得点表の所に置いていった。その後松ぼっくりの数を数えるなど1年生がどちらがどれだけ多いか幼児に伝える場面も見られた。室内では、1年生と幼児が互いにアイデアを出し段ボールを使って遊びの場を作る姿が見られた。



段ボールの場づくり

【全体会の中で】

開会行事の前に7月に起こった西日本豪雨の際、床上浸水相当の被害に遭った肱川

幼稚園・久米幼稚園に全国国公立幼稚園・こども園長会、全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会より支援金の贈呈が行われた。両園長先生が、災害時の状況や現在の子どもたちの様子を伝え挨拶をした。



肱川幼稚園、久米幼稚園両園長先生よりごあいさつ

【提案発表】

「幼小中一貫教育を進める中で、小・中と連携しながら育つ・つなぐ」、徳島県鳴門市撫養幼稚園岩崎智美園長先生からの提案が行われた。

幼稚園から中学校までの11年間を通して、系統的・断続的な学習指導や生活指導を行い、すべての子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育むことを目的とした取

り組みの中で作成した『学びのプラン』や異校種間の教職員で子どもを捉え、伝え合う大切さを報告された。



提案発表

地域の子どものどのように育てていくか、「学びのプラン」を基に目標を共有し、子どもたちのこれまでとこれからを捉えつつ子どもの関わることは、相互理解と互恵性につながり、幼・小・中にとってメリットとなると愛媛県教育委員会指導主事和田和美先生より指導助言をいただいた。

【講演】

「新幼稚園教育要領を踏まえた実践を考える」と題し、名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授津金美智子先生より公開保育の中での幼児と小

学生との関わりを例に挙げながら、新幼稚園教育要領の遊びを通じた総合的な指導の大切さや幼児教育と小学校教育との接続は教育の味がつながることであるとご講演いただいた。



講演

おわりに

四国4県の持ち回りで隔年開催の四国園長研究会が行われている。愛媛大会において「四国はひとつ」の合言葉のもと、愛媛らしさを交えつつ、開催した。四県の園長・主任等の先生たちが席を共にし、これからの幼児教育の在り方を学び合う機会となった。大会開催にあたりご協力ご支援いただいた関係各位に心から感謝申しあげたい。

畳・ふすま張替えのご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会では、(株)ライフネットと提携店契約を結んでおります。

面倒な畳替え、ふすまの張り替えなどのご用命はお気軽に学校生協までご相談ください

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0565
または 郡市学校生活協同組合



本年度のご利用たいへんありがとうございました。来年度も一層のご利用をお願いいたします。

会議・宿泊・宴会に 私たちの会館を!

ご利用条件の詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.ehime-bunkyoaikan.or.jp/>

エスポワール愛媛文教会館

ふるさとスケッチ

No.420

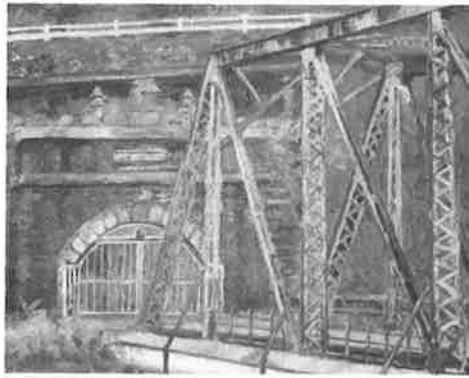
別子銅山第4通洞



新居浜教育会OB 濱田 直

瀬戸内沿岸の一農漁村にすぎなかつた新居浜を四国屈指の工業都市へと発展させると共に、日本の近代化に大きく貢献した別子銅山の入口、第4通洞です。明治43年に端出場(現在のマイントピア別子)から開さくに着手し、大正4年に貫通、通洞口から中心部

に至る延長約4、660メートルの坑内運搬の大動脈でした。キャップランプを着装した鉱夫を乗せた電車が手前の鉄橋を渡つて入坑、坑内から鉱石が運びだされる光景が昭和48年まで見られました。



ローカルトピックス 遙か高野山に想いを馳せ 光林寺



今治市の鴨部小学校区は、高縄半島の山々を源流に燧灘へと流れ出る蒼社川に沿って細長く、最上流側に「高野」、最も下流に「八幡」という地名がある。なんとも歴史のロマンを感じさせる。

昭和44年に発刊された『玉川の民話』が、昨年復刻された。当時の小中学生が地域の方々に取材して、当地方に代々伝わるお話を収録したものだ。当時中学生だった筆者の了解を得て、一部抜粋して紹介する。「弘法大師は優れた学問を収めて帰国しました。そして

本山を開くために七つの山と七つの谷を持つ土地を求め、この高野へ着きました。大師は高野の地形を見て回るうちに、ここに本山を開こうと決心しました。ところが、この大師の決心をゆるがすものがありました。遠くに瀬戸の海が見えたからでした。大師は、海を大変きらつていたのでした。その後、大師は和歌山県の高野山へ金剛峰寺を建てて真言宗を開きました。が、この高野というのは、玉川の高野をまねて名づけたのだといわれています。また大師は本山を開くために七つのお寺を建てられましたが、僧兵の乱の時代に光林寺へ統合しました。現在もその頃の寺の入り口だった大門口という地名が残っており、仁王門はそのままの形で今も残っています。「八幡」のお話は、また別の機会に。

文教月報編集協力委員 田房 亮介 今治市鴨部小学校長

柳川募

泥んこの足がりズムの田植え唄 犠牲者を刻み供養の摩文仁丘 帰路急ぐ教師の顔が母になる 防犯へ父さんの靴置いてみる さらさらとは書けぬ遺言まだ八十路 軽々とボウを背負った内い背な ドームの黒い黙を刻んできた父よ 責任者深いお辞儀の詫び姿 使つた父のおもかげ文房具 混沌をさらさら溶かす曼荼羅図 夫婦喧嘩裁かれたのは有田焼 少年の誓いまっ白な雲に乗る 思考回路プラスばかりでショートする オーシャンブルーの海に捧げる鎮魂歌

何故かふと父母が恋しくなる日暮 鄙の駅囀む火鉢に笑み交わす 落椿空の深淵新たにす

- 松山市 関谷 省三
松山市 丹下 友和
松山市 上田 千鳥
松山市 川口 博子
松山市 姫田 祐輔
松山市 岡本 恭子
松山市 仙波 弘子
松山市 柏井 正子
松山市 白石 和子
松山市 山下恵美子
松山市 池谷三和子
松山市 高橋 輝子
松山市 松本 玲子
松山市 栗田 忠士

ご冥福をお祈りします

Table with names, ages, and addresses of deceased individuals.

応募短歌

十二センチの靴に大地を踏みしめて幼子は歩む初めての秋 閑校の日より校舎に入絶えて消されず残る白墨の文字 どんぐりを拾う童等嬉々として小暗き森の落葉蹴り行く

- 愛南町 前田 充
松山市 門屋 泰輝
四国中央市 石川 節子